



# 船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」



第15号  
令和4年8月26日

船穂中学校 HP QRコード

## 2学期始業式を迎えて

2学期始業式においては、次のような話をしました。

まず、7月20日から始まった県総体に、本校からは陸上とソフトテニス部が出場しました。個人個人がベストをつくして一生懸命頑張っている姿が印象的でした。水島港ソフトテニス大会のソフトテニス部の活躍、岡山県吹奏楽コンクール（小編成の部）金賞、社会を明るくする運動ポスター金賞、校内弁論大会では、最優秀賞、優秀賞の2人が出場し、「倉敷高校夢がたりスピーチコンテスト」や「倉敷市中学生弁論大会」にて、自分の考えをしっかりとスピーチし、金賞・銅賞に輝きました。素晴らしいことです。他にも夏休み中部活動の練習に励んだ人、本を1冊読み上げた人、家の手伝いやボランティア活動に取り組んだ人、勉強をしっかりと取り組んだ人や夏休みの宿題を仕上げた人など、それぞれ頑張ったことがあるのではないのでしょうか。何かに一生懸命になり、小さなことでも最後までやり遂げることは大切なことです。

## 船穂中学校区学校運営協議会の取り組み「のぼり旗」を紹介

次に、船穂中学校区学校運営協議会の取り組みの紹介です。

6月17日（金）本校では、幼・小・中、12年間を見据えて地域総がかりで子どもたちを育てるという目的に賛同していただいた倉敷市教育委員会の先生方、学校園の代表として、船穂幼稚園の園長先生、船穂小・柳井原小、船穂中学校の校長先生や教頭先生、教務の先生、そして地域からは船穂公民館の館長さん、各小・中校のPTA会長さん、他にも地域代表の方々を交え、どんな子どもに育ててほしいか、目指す子ども像について協議しました。

熟議の結果、「船穂大好き 人大好き」に決定しました。文字の周りには、幼・小・中学校の校章や特産物としてのマスカットやスイートピー、金時ニンジンを入れることとなりました。

もちろん船穂中学校区という単位で考えていますので、柳井原地区の思いもしっかりと入っています。「船穂大好き」というフレーズからは、「・地域を輝かせる子 ・地域で活躍できる子 ・船穂が大好きな子 ・ふる里に愛着が持てる子 ・地域の産業を継いでくれる子」など、地域愛の強さを感じる発言が多くありました。

「人大好き」というフレーズからは、「・地元を愛せる人 ・地元を誇りを持てる人 ・他人を思いやれる人 ・優しい人 ・相手の気持ちが分かる人 ・他の意見を尊重できる人」地元を大切に思うとともに、他人を思いやり、仲良く過ごしてほしいという願いを強く感じました。

本年度の取り組みの一つとして、船穂幼稚園・船穂小学校・柳井原小学校・船穂中学校・船穂公民館に図1のような「のぼり旗」を設置します。今後も目指す子ども像のもと、船穂中学校区の子どものために、地域と連携した取り組みを行っていきますので、どうぞご協力をよろしくお願い致します。



図1 船穂中学校区学校運営協議会ののぼり旗の設置（船穂中学校）